



宮崎労発基 0918 第 1 号
令和 7 年 9 月 1 8 日

各 位

宮崎労働局長
(公印省略)

林業及び建設業における死亡災害防止対策の徹底について（取組要請）

労働災害の防止について、平素より格段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、宮崎労働局内における労働災害は、今年に入って減少傾向にありますが、林業及び建設業の作業現場において、事業者が直接作業等に従事してお亡くなりになる災害が連続して発生する事態が生じております（別添リーフレット参照）。

宮崎労働局は、労働災害の撲滅を目指して、令和 5 年度を初年度とする第 14 次労働災害防止計画（5 か年計画）に基づく対策を推進しているところですが、管内で発生した事業者の死亡災害をみると、災害防止に係る基本事項が遵守されていない状況が認められております。また、過去から繰り返されている重機災害や墜落災害等により労働者や事業者が死亡する災害が後を絶たない状況もあり、これから年末にかけて、両業種において最盛期を迎える時期となる中で、これ以上労働者や事業者が亡くなる災害を発生させないためには、最盛期前において、今一度、災害防止対策を徹底することが重要となります。

つきましては、貴会及び貴会会員（関係事業場）におかれましては、下記の事項に係る対策を実施していただきますようお願いいたします。

なお、取組後は、お手数ではありますが取組状況等を当局健康安全課までメールによりご連絡いただければ幸いに存じます。

記

1 共通事項

- (1) 貴会による貴会会員事業場への別添リーフレットによる一人親方等災害情報の周知
- (2) 会員（関係事業場）における実施事項
 - ① 経営トップによる安全への所信表明
 - ・ 職場の安全委員会等の活動の活性化
 - ・ 職場における別添リーフレット等を使用した安全教育の徹底
 - ・ 特に、過去から繰り返されている墜落災害や重機災害防止に係る安全衛生対策事項の再教育
 - ・ 危険作業を一人で行うことを極力避け、やむを得ず一人作業を行わせる場合は、定期的に安全作業状況を確認管理すること



- ② 自動化・遠隔操作化による安全作業の促進（ハザードに作業者が接近すること無くす・少なくする）
- ③ リスクアセスメントの確実な実施
- ④ 高年齢労働者に配慮した職場環境改善の推進
- ⑤ 一人親方等に作業を発注する場合の安全配慮

2 対象別実施事項

次に該当する業種においては、業種別の労働災害防止強調運動等と併せた対策の実施

(1) 林業

- ① 立木伐倒時や伐倒後の玉切り等における「激突され」に係る労働災害防止のための点検・対策の実施
- ② 急傾斜地等における重機及び作業者の「墜落・転落」に係る労働災害防止のための点検・対策の実施
- ③ 重機運転者に対するシートベルト着用の徹底
- ④ 一人親方等に作業を行わせる場合の安全配慮

(2) 建設業

- ① 足場等の「仮設物、建築物、構築物等」等における「墜落・転落」等による災害防止のための点検・対策の実施
- ② 急傾斜地等における重機及び作業者の「墜落・転落」に係る労働災害防止のための点検・対策の実施
- ③ 重機運転者に対するシートベルト着用の徹底
- ④ 一人親方等に作業を行わせる場合の安全配慮

【連絡先】

〒880-0805

宮崎市橘通東3-1-22

宮崎労働局 労働基準部 健康安全課

TEL 0985-38-8835

E-mail: kenkouanzenka-miyazakikyoku@mhlw.go.jp

一人親方等の死亡災害 が多発しています

宮崎県内では、令和7年7月から8月の2ヶ月間に、一人親方等の事業者5名（林業2名、建設業3名）の尊い命が失われています。（裏面参照）

※一人親方等：労働者を雇うことなく事業を営む者のほかに、中小事業主、役員、家族従業者を含む。



令和7年8月発生、
路肩が崩壊し、重機
と運転者が滑落した
死亡災害

一人親方等の死亡災害多発について（災害防止取組の要請）

宮崎労働局では、急増する一人親方等の死亡災害を防止するため、死亡災害が多発していることの注意喚起と、一人親方等（事業者）と労働者の双方が、安全意識を高めて作業を行うことを要請します。

宮崎労働局・各労働基準監督署

宮崎県内で令和7年7月～8月に発生した
一人親方等死亡災害（宮崎労働局把握分）

番号	発生月	業種	事故の型	起因物	発生状況
1	7月	林業	墜落 転落	掘削用 機械	林業現場で作業道を建設中、被災者（60代男性）が運転していたバックホーが路肩から転落した。バックホーは約50m下まで転落したが、被災者は転落途中で運転席から投げ出され、生き埋めの状態となり、死亡した。
2	8月	林業	はさま れ、巻き 込まれ	立木等	被災者（70代男性）は一人作業中、伐倒木の元口側をフェラパンチャで掴み、元口から4mの箇所をチェーンソーで玉切ったところ、切った伐倒木の先端側がフェラパンチャ側に跳ねて被災者に激突し、フェラパンチャと伐倒木の間にはさまれたものと推測される。
3	8月	建設業	高温・低 温の物と の接触等	高温・低 温環境等	被災者（60代男性）は集合住宅新築工事において、電気工事作業等に従事していた。被災当日、現場で具合が悪い状況が確認されていたが、そのまま帰宅し、熱中症で死亡した。
4	8月	建設業	墜落 転落	足場	被災者（60代男性）は木造住宅新築工事において、外壁作業等に従事していた。被災者は、一人作業中、何らかの理由により足場から地面に墜落したものと推測される。
5	8月	建設業	墜落 転落	掘削用 機械	災害復旧工事現場で進入路開設作業中、被災者（60代男性）が運転していたバックホーが路肩から転落した。バックホーは約70m下まで転落したが、被災者は転落途中で運転席から投げ出され、死亡した。

重機運転者のシートベルト着用を徹底しましょう！！

路肩、傾斜地等であって、車両系建設機械等の転倒又は転落により運転者に危険が生ずるおそれのある場所においては、転倒時保護構造を有し、かつ、シートベルトを備えたもの以外の車両系木材伐出機械等を使用しないように努めるとともに、運転者にシートベルトを使用させることを徹底しましょう！！

